

# 6月8日(木) 第4学年 社会科 『ごみのしよいとそ利用』

★キャリア教育の視点



①人や社会とかかわる力

②自分のよいところを見つける力



③学習と生活が将来の生き方に関係していることに気付く力



4年生は、社会科の学習で身近なごみについて考えてきました。保護者から各家庭のごみの量や3Rの取組についてアンケートをとり、学習で活用しました。また外部人材を活用し、「ごみ出前授業」を行い、ごみ収集の実際の現場や、ごみの処理の過程等を実体験を交えながら学び、多くの資料等を基に自分の考えをまとめました。普段生活しているだけでは見えてこない部分を知ることで、一人一人がより深く課題意識をもちながら学習をすすめ、人や社会とかかわる力を伸ばしました。また自分にできることを深く考え、実践していこうとする意欲が芽生え、総合的な学習の時間の学びに繋がりました。多くの資料を基にしてグループで話し合い課題を解決していくことで様々な視点からの意見を取り入れると同時に、自分の意見のよさにも気が付き、自分のよいところを見付ける力も身に付きました。家庭・学校・地域が連携を深めて「ごみの処理とその利用」の課題を解決していく際に、中心となる当事者意識をもつことのできた学習となりました。まさに、学習と生活が将来の生き方に関係していることに気付く力を育てる学びの場となりました。